

I 教育課程の編成・実施および学位授与の方針

1 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

薬学科

薬学科は、「薬剤師の社会的使命を強く自覚した薬剤師及び医療系薬学研究者の養成」、「薬物治療の責任を担える薬剤師の養成」、「医療人としてのコミュニケーション能力を備えた人材の育成」、そして「医療全体を社会的視点で思考することのできる人材の育成」を教育目標としています。

教育課程は「薬学教育モデル・コアカリキュラム」「実務実習モデル・コアカリキュラム」を基に、サイエンスに基づく実学としての薬学教育・薬剤師教育により専門的知識・技能・態度が身につけられる本学独自のカリキュラムを編成しており、6年間の教育を1、2年次の基礎教育と3年次以降の4年間の専門教育に大別しています。

○1、2年次の基礎教育

大学への導入教育、薬学を支えるサイエンスの基礎となる薬学基礎科目を履修するとともに、人間形成に必要な教養科目、医療人に求められる幅広い視野を養う早期体験学習などの薬剤師早期教育カリキュラムを編成しています。

○3、4年次の専門教育

医療系専門科目を中心に履修します。また、事前実務実習を履修し薬剤師職務に必要とされる基本的な知識・技能・態度を修得するとともに、4年次以降の卒業研究により問題発見・研究遂行意欲及び問題解決能力を身につけるよう編成しています。

○5、6年次の専門教育

病院及び薬局における薬剤師業務の基礎的知識・技能・態度が修得できるよう薬学実務実習を履修するとともに、本学独自の7つのコース（病院薬学、地域医療、臨床開発、健康薬学、伝統医療薬学、海外医療研修、薬学研究）特別実習・演習のいずれかを選択することにより、より実践的で専門性の高い知識・技能・態度を修得します。また、実務実習での実体験と知識の融合を図るコース特論・演習や、6年間の総まとめである総合医療薬学演習科目を編成しています。

生命創薬科学科

生命創薬科学科は、「生命科学と創薬化学分野の確かな基礎学力、研究能力を身につけ、問題解決ができる人材」、「強い探究心と洞察力を持つ発想力豊かな人材」、「論理的な思考力と高い発表能力を持つ人材」、そして「生命を尊重し、豊かな人間性を持った薬学人」を育てることにより、創薬及び医薬品開発等のための研究者・技術者を育成することを教育目標としています。

少人数制の行動型授業でコミュニケーション能力を養うとともに、多彩な研究体験を通して論理的思考力を伸ばしていくことができるように、学部4年間の教育と大学院博士課程（前期）とを連動させ、生命科学や創薬研究を基盤にした本学独自のカリキュラムを編成しています。

○1、2年次の基礎教育

大学への導入教育、人間形成に必要な教養科目を履修するとともに、生命科学と創薬化学の基礎科目を重点的に履修します。また、少人数制の能動的演習科目により確実な基礎知識と積極的な学修態度を身につけることができるようにカリキュラムを編成しています。

○3年次の専門教育

生命科学と創薬化学の専門科目、医療・衛生科目を履修するとともに、生物系研究室、化学系研究室における長期総合実習・演習を通して、多彩な研究体験を積み、早い段階から研究に対する意識づけができる科目や大学院進学に繋がるコース科目を編成しています。

○4年次の専門教育

卒業研究を大学院研究教育と連動させ専門分野の知識や技術を活用する総合力（探求心、論理的思考、洞察力、および語学力）を養うことができるカリキュラムを編成しています。

2 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

各学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に基づいて設定した授業科目を受講し、教育目標を達成することによって医療、製薬、保健衛生のさまざまな分野で必要となる基本知識・技能・態度を修得し、生涯にわたって学修する習慣を身につけ、卒業に必要な単位を修得した者に対して、卒業を認定し、薬学科は「学士（薬学）」、生命創薬科学科は「学士（薬科学）」の学位を授与します。